

## 技術士口頭試験再現

- ・ 14:20 の開始予定が 14:50 まで前の人時間が押して伸びた。今年は制度が変わり非常に質問が多いと控室から聞こえる
- ・ 所要時間 22~23 分程度
- ・ 面接官 3 名 … 向かって左右は若い (30 代か)。真ん中は私と同年代くらい。必要であればホワイトボードを使うように指示されたが、使わなかった。
- ・ 良かった点 … 右面接官が倫理について「3 義務 2 責務」のうち、文系技術士さんが重要と思う事項を複数挙げてください、ときいたので守秘義務を軽く述べ (メールでデータ送るときは必ずパスワードをかける)、以下学会活動と継続研鑽の話で主導権をとった。
- ・ 悪かった点 … 前半の業務経歴は作り話を盛ったので、口調がたどたどしかった。
- ・ 質問内容 … リーダーシップ (若手育成と関係者との調整) とコミュニケーションの取り方が大半。筆記試験の内容に関する質問はなかった (ただし、試験終了後、アンケートとして今年の問題にはどのような印象を持たれましたか? ときかれたので、より幅広い知識が必要になってきていると感じたと述べた)。

(詳細)

面接官左: それでは試験を始めます。業務経歴の詳細について 3 分程度で述べてください。

A: はい、私は 2007 年に現職の会社に入社したのですが、(詳細は省略) この結果、発注者には高評価を得られました。また、これらの資料は社内 OJT 資料として、学会・委員会での講演資料としても活用しています。今後は、現地情報を増やして充実させたいと思っています。

面接官左: 多くの人、基本的には若い人が多くかかわっていると思いますが、精度を上げる工夫を具体的に述べてください。

A: どこをどのように修正したか、例えば (略) 修正メモをそのまま残し、紙ベースで保管しました。

面接官左: 工程と精度を確保するために工夫したことは他にありますか

A: スプレッドシート、担当者だけが編集できる工程表を社内イントラネットにあげ、他業務で出張中でも進捗、担当者を確認できるようにしました。

面接官左: 若手に技術を伝えるためにコミュニケーションはどのようにしていますか

A: ある程度自信がなくても、自分の考えを図面と文章にかくように言っています。本や学会誌等を読むことも勉強のうちですが、そのようなインプットよりも実際に書くアウトプ

ットの方が、考えが定着しやすいからと伝えています。

面接官左：ほかにありますか

A：春先に社内巡検を行い、学会活動にも積極的に取り組むように伝えています。

面接官左：文系技術士さん自身はどのような研鑽をされていますか

A：応用地質学会を中心に、学会活動で議論を深めています

面接官右：それでは倫理に関する試験をします。技術士の3義務2責務のうち、あなたが重要と思うことを複数あげ、どのように実践しているか述べてください。

A：まず、守秘義務が挙げられます。これはメールでデータを送る際、パスワードをかけるようにしています。次に継続研鑽の責務があります。これは先ほど述べた学会の研究部会で15年くらい活動していて、現在は幹事となっています。

面接官右：発注者や協力会社、地域住民といった非専門家とのコミュニケーションはどう工夫していますか？

A：専門用語を噛み砕いて分かりやすい言葉を使うなどしています。

面接官右：業務経歴の詳細で述べられているような説明を提示しても、納得してもらえないことも多いと思います。相手が納得しなかった理由を踏まえ、そのような事例をあげ、どのように工夫したか述べてください。

A：もう用地交渉が終わったので変更しにくいと言われたことがあります（面接官右：あ一つ、ありますよねえと相槌）。その時は、自分の案を改めて主張するとともに、地形・地質の類似する他地域であった災害事例に触れ、ここもよく似ていますと説明します（面接官左と中央：なるほど、地質の類似する事例か、とメモを取る）。

面接官中央：では今後の研鑽や目標について伺います。先ほど学会活動というお話をされていますが、どのような学会に参加、活動されていますか。

A：応用地質学会、砂防学会、地すべり学会です

面接官中央：学会発表のほかはどのような活動をされていますか

A：最近では災害調査団の活動をしています。

面接官中央：そのような災害調査団等を通し得られた危険度評価に関する経験・知見を、今後公益の確保のため、今後どのように展開していきたいですか

A：災害の危険性の高い地域だけでなく、安全な地域もあるので、それら両方を的確に評価して地域全体の防災力が上がる方向にもっていきたいです。

面接官中央：では、今後技術士としてどう研鑽していきたいか、ああっ、、あくまで合格していればですよ、、目標を教えてください。

A：本を書きたいです

(面接官全員仰天！目を見張る)

面接官中央：うわー！本ですか、すごく高いハードルじゃないですか。なぜそう思うのですか

A：私は今まで複数の会社を経験していますが、創業者は本を書いており、自分はそれに惹かれている。同じように若手の道しるべになるような活動をしたい。

面接官中央：ありがとうございました。試験はこれで終了です。